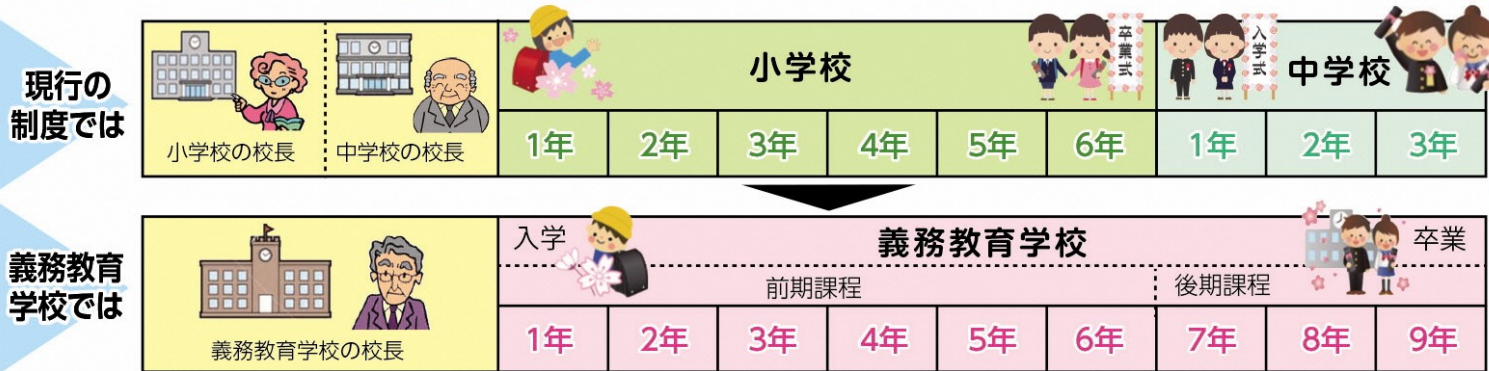


義務教育学校は、どのような学校なのか？

「義務教育学校」は、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行う学校として、平成28年4月に制度化された新しい学校です。

これに伴い、全国では、平成29年度までに48校が、義務教育学校として開校しています。

現行では、義務教育の期間は、小学校6年間、中学校3年間に区切られています。義務教育学校では、1年生から9年生までの**9年間を一貫して行う学校**になります。



- ◇ 現行の制度では小・中学校それぞれに校長先生がいますが、義務教育学校では**校長先生が一人**になります。
- ◇ 現行の制度では小・中学校それぞれで入学式と卒業式が行われますが、義務教育学校では**入学式は1年生**で、**卒業式は9年生**となります。
- ◇ 義務教育学校では、これまでの小学校6年間で前期課程(これまでの小学校の教科書を使用)、中学校3年間で後期課程(これまでの中学校の教科書を使用)と区分しながらも、学校や地域の実態に応じて、これまでよりも、**より柔軟に**教育活動を行うことができます。

全国には、次のように教育活動を工夫している義務教育学校もあります

新たな教科をつくる工夫

◇ 東京都品川区の小中学校

- ・新たな教科「市民科」をつくっています。
- ・独自の教科書を作成し、伝統文化や礼儀作法などを学んでいます。
- ・道徳、学級活動、総合的な学習の時間をあわせて行っています。



9年間の区切りを活かす工夫

◇ 茨城県水戸市国田学園

- ・1年生から「英会話」の学習を設定。
- ・1～4年は45分授業、5～9年は50分授業。
- ・5年生から教科担任制による授業の実施。
- ・5～9年生が合同で行う児童生徒会活動。
- ・9年生は、2学期から7時間授業を実施。



宗像市では、平成18年度から推進してきた小中一貫教育をさらに充実・発展させることを目的に、「宗像市立義務教育学校の設置等に関する基本方針」を、平成29年10月に策定しました。

「宗像市立義務教育学校の設置等に関する基本方針」は、どのような内容ですか？

宗像市は、下のいずれの条件も満たす、または満たすことができる場合に、義務教育学校を設置していくことにします。

一つの校舎で学ぶ
「**施設一体型**」校舎であること

設置時に**27学級以下**であること
(特別支援学級は除く)

遠距離通学に対し、**通学時の安全対策**を十分にとること